

事務事業名	《H24新規》地域エネルギー活用プロジェクト		所属部局	総合政策部	単位番号	2012- 999002				
	□ 実施計画事業		所属課室	地球温暖化対策室	課長名	深澤 安丸				
			所属担当	自然エネルギー推進担当	担当者名	河野慎介				
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 02	項 01	目 07	細目 110	細々目 05
政策	19	自然環境の保全と活用	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	32	自然と共生する地域づくり								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 24 ~ 33 年度)			法令根拠						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 「ふるさと愛プロジェクト」及び「地域活性化総合特区事業」のなかで、酵母を用いてバイオマス資源から油脂を生産する研究を、山梨大学等と連携して実施することにより、市内における未利用農産物などから燃料用油脂(バイオディーゼル燃料)の生産を目指す。			事業費の主な内訳 ( 25年度 決算見込)						
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				手数料	170					
			寄附金	6,000						
						計 6,170				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	25年度活動実績 未利用資源からの再生可能エネルギーの生産に関する調査研究及び実証実験。ヘルスピア白根の貸借契約。電源等改修工事。実験用原 26年度活動予定 未利用資源からの再生可能エネルギーの生産に関する調査研究及び実証実験。実験の継続。実験用原材料の調達。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	リポミセス酵母菌
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	リポミセス酵母菌(430種類)と炭素源(じゃがいもでんぷん・米ぬか・桃、李果汁・ヤーコン・グリセリン)及び温度環境の組合せにより、油脂生産性の高い菌株の選抜を行う。(研究の結果によって見直す。)
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	未利用バイオマス資源の利用によりCO2排出量が減り温暖化対策が推進される。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア協議打合せ	回
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	アリポミセス酵母菌の種類	種類
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	アスクリーニングの結果	種類
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	アバイオマス資源の利用により削減されたCO2排出量	t/年

年間トータルコスト		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	千円					25,000		
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	2,000	4,000	6,170	6,400	25,000	6,000	
	事業費計(A)	千円	2,000	4,000	6,170	6,400	50,000	6,000	0
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	250	500	500	1,000	1,000	1,000	
	人件費計(B)	千円	1,138	2,276	2,276	4,551	4,551	4,551	0
	(A)+(B)	千円	3,138	6,276	8,446	10,951	54,551	10,551	0
活動指標	ア回		3.0	6.0	10.0	10.0	10.0	10.0	
対象指標	アイウ	種類	430.0	430.0	430.0	430.0	430.0	430.0	
成果指標	アイウ	種類	0.0	70.0	360.0				
上位成果指標	アイ	t/年	87.1	87.1	87.1	87.1	87.1	87.1	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H24年1月、「ふるさと愛プロジェクト」推進協議会のなかで、酵母を用いてバイオマス資源から油脂を生産する研究を、山梨大学等と連携して実施することとなった。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	再生可能資源や再生エネルギーの活用が求められている中で、本市においても遊休農地や未利用・廃棄物系バイオマスを有効利用し地域の活性化につなげる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成24年6月28日 山梨大学と包括的連携協定を締結
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	市施設ヘルスピア白根を貸借したことにより、実験室レベル(1~2L培養・試薬レベル)の炭素源・油脂の物性評価から、小規模タンク生産(90L培養・低利用価値再生可能資源の活用・油脂の抽出、精製)となった。

事務事業名	＜H24新規＞地域エネルギー活用プロジェクト	所属部	総合政策部	所属課	地球温暖化対策室
-------	------------------------	-----	-------	-----	----------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 総合計画後期基本計画において、自然エネルギーの導入促進は施策の重点目標とされており、政策体系との整合性は取れている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 産学官で役割を定めていることから、市の関与は妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 未利用バイオマス資源活用策の検証であり、地域の資源を地域で活用するための実験であるので、今しばらく継続する必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 市民や事業者が自然エネルギーに関心を寄せており、プロジェクトの展開により一層の成果が期待できる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統廃合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 休止・廃止した場合は、温暖化防止対策の進展は望めない。温暖化対策は国を挙げての課題であり、市として取組む課題である。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 休止・廃止した場合も、苦情などはないと思うが、温暖化に関する意識の低下は免れない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の予算で実施しており削減の余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の職員で実施しており削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 温暖化対策に資する事業であり公平公正である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	12月より、実証実験が開始となって、今後の成果が期待される。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
① 研究プラントでのスムーズな研究の支援 ② 山梨大学、関係企業との連携																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
なし	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	③	コスト削減優先度評価結果	⑧																	
成果優先度評価結果	③																					
コスト削減優先度評価結果	⑧																					